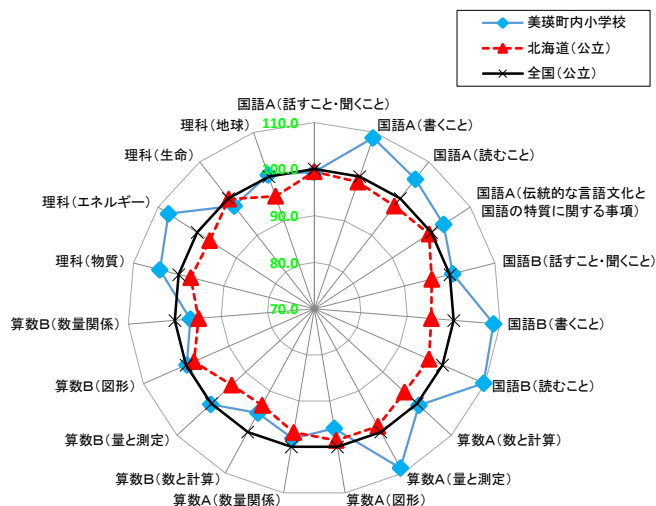


■美瑛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:61人)

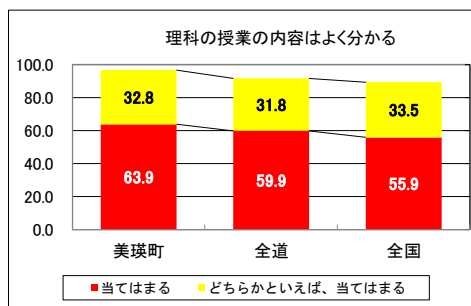
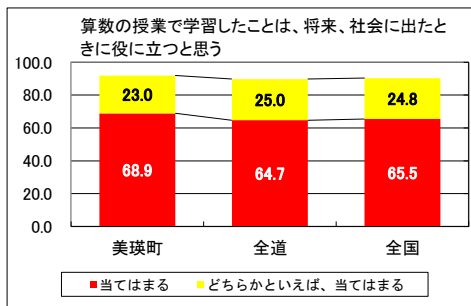
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

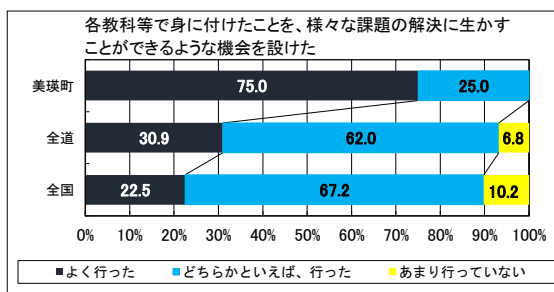
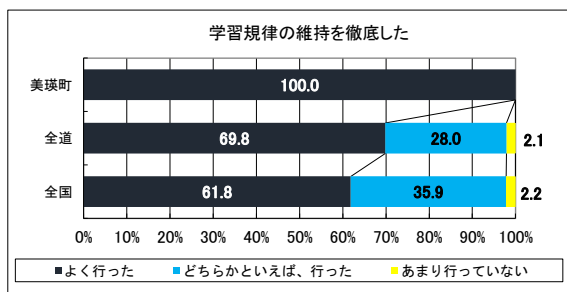
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A・B、算数A、理科において、全国を上回っている。 ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」、Bでは、「量と測定」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「エネルギー」「地球」で全国を上回っている。	○ 算数の授業において、算数の学習の有用性を繰り返し実感できるようにしたことにより、算数A・Bの3領域において全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設定したことにより、学習内容の定着が図られ、国語A・B、算数A、理科において、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「学習規律の維持を徹底した」と回答している。 ○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【美瑛町の学力向上策】

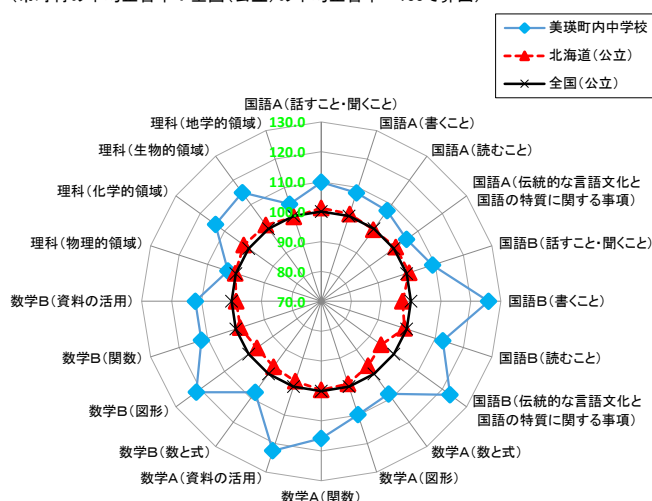
- ◎ 指導方法の向上を目的とした先進地視察及びプログラミング的思考の育成に向けた研修などの教職員研修の充実
- ◎ 「学習ルーム」の開設や「土曜学習」「通学合宿」の実施による児童の学習習慣の改善と基礎学力の定着を図る取組の充実
- ◎ ICT機器の活用による授業の質的向上に向けた取組の推進

■美瑛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:71人)

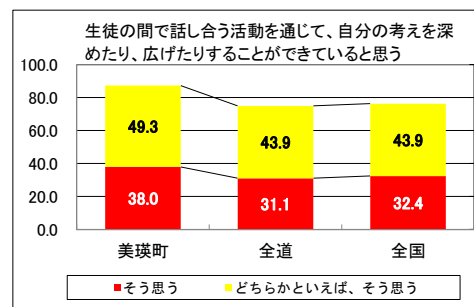
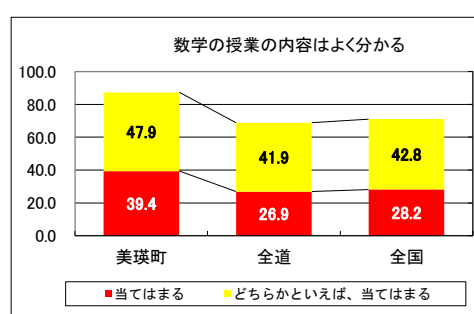
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

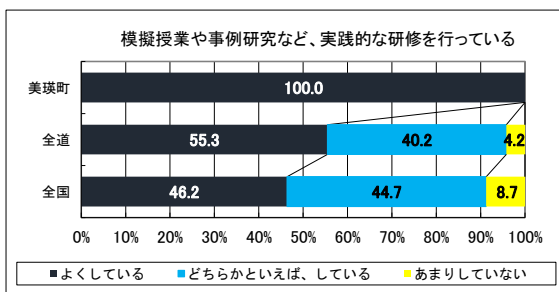
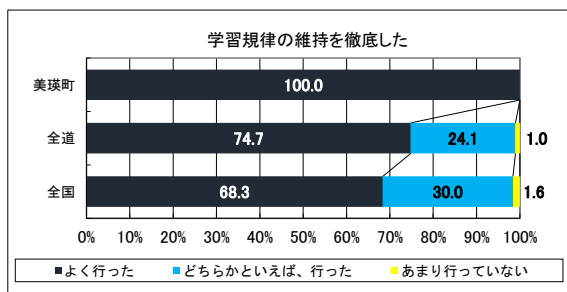
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語A・Bでは、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。	○ 自分の考えを深めたり、広げたりすることができるよう、生徒の間で話し合うなどの言語活動を充実させたことにより、国語A・Bの全ての領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 学習規律の維持を徹底したことにより、生徒が落ち着いて学習に臨むようになり、学習内容の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「学習規律の維持を徹底した」と回答している。 ○ 全ての学校が、「模擬授業や事例研究など、実践的な研修をよく行っている」と回答している。	○ 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、授業改善が図られ、全ての教科及び領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。

【美瑛町の学力向上策】

- ◎ 指導方法の向上を目的とした先進地視察及びプログラミング的思考の育成に向けた研修などの教職員研修の充実
- ◎ 生徒の思考力形成に向けた読書環境及び学習環境の充実
- ◎ ICT機器の活用による授業の質的向上に向けた取組の推進